

## 授業で制作した「木のおもちゃ」を展示します。

3月7日(土)に富山市総曲輪グランドプラザにおいて、グランドプラザであそぼう!「とやまの木の公園」が開催されます。全国からアイデアを募り、富山県が制作した「とやまの木を使った遊具」と「5千個の木の積木」、そして芸術文化学部の学生が制作した「35個の木のおもちゃ」が集まって1日限定の「とやまの木の公園」が誕生します。



▲会場風景。木のおもちゃの公園です。人工芝の上を靴をぬいで走り回ります。

### グランドプラザであそぼう!「とやまの木の公園」

日時：平成27年3月7日(土) 10:00～17:00  
1日限定、参加無料

会場：グランドプラザ（富山市総曲輪）  
主催：(株)まちづくりとやまグランドプラザ事務局  
協力：富山県、富山大学芸術文化学部  
担当：渡邊 雅志（芸術文化学部 准教授）

「とやまの木の公園」は、芸術文化学部の授業「デザイン工芸入門B」で制作した木のおもちゃから、県産材の木の遊具（富山県が取組む“木育”事業の一環で制作したジャングルジムやトンネルなど）、県産材の木の積木（朴（ホオ）の木5千個）、木のように自立する黒板（高岡市の“進化する森アートワークショップ”で生まれた作品）を並べ、全身で木を感じていただくイベントです。

授業成果展示に留まらず、県内の取組みや県内施設と共同し実現するこのイベントは、木に触れる機会として大変意義深いものです。

（写真は2014年3月22日開催の様子です）



▲来場者と木のおもちゃで遊ぶ学生



▲「木のおもちゃ」展示風景



▲初めて見るおもちゃに熱中



▲木に登る感覚のジャングルジム



▲トンネルはいつも大人気



▲木にチョークで描く



▲県産材の朴（ホオ）の積木



▲丸い柱状の黒板